

(様式 1-3)

本宮市生活拠点形成事業計画 生活拠点形成事業等個票

平成 27 年 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	コミュニティ交流広場整備事業		事業番号	◆A-1-1-2
交付団体		本宮市	事業実施主体 (直接/間接)		本宮市	
総交付対象事業費		65,396 (千円)	全体事業費		65,396 (千円)	
事業概要						
<p>原子力災害により避難を余儀なくされている居住制限者が、地元住民とのスポーツ等の交流を通して、日頃の運動不足やストレスを解消し、心身共に健やかな生活を送れるよう、本宮市内の中心部で安達太良山が眺望でき川の流れる聞こえる自然豊かな阿武隈川の河川敷に、災害公営住宅入居予定者を含む中通り地方への避難者や地元住民の参画・共同作業のもとコミュニティ交流広場を整備し、交流行事等を実施する。</p> <p>【整備概要】</p> <p>整備内容：①交流広場の整備 ②ワークショップ、共同作業、交流事業等の実施</p> <p>整備箇所：本宮市高木字長瀬地内</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> <p>『福島県復興計画第 2 次』</p> <p>取組名：生活再建支援プロジェクト【復興公営住宅整備】</p> <p>取組内容：避難町村の意向を十分に確認しながら、県営住宅を含む様々な整備方法を検討する。</p> <p>『浪江町復興計画第 1 次』</p> <p>取組名：仮設住宅・借上住宅など住環境の改善</p> <p>取組内容：仮設、借上住宅で解決できない住環境改善を図る。</p> <p>『本宮市第 1 次総合計画後期基本計画』</p> <p>取組名：原子力災害による避難者の支援</p> <p>取組内容：原子力災害による避難者を支援するため、復興公営住宅の整備を行う。</p>						
居住制限者の避難の状況との関係						
<p>長期にわたる避難生活の中で、避難者の運動不足や精神的なストレスが懸念されている。また、居住地を離れ、住みなれない地域で暮らすことにより、寂しさを感じている方が多くいることから、地元の住民との交流や運動不足解消の場所や機会を提供する必要がある。</p>						

※避難者支援事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A-1-1、A-1-2、A-1-3
事業名	災害公営住宅等整備事業 (和田、仁井田、仁井田 2)
交付団体	本宮市
基幹事業との関連性	
災害公営住宅の入居者をはじめとした避難者の心身の健やかな生活を支援することが必要である。	